

第35回鹿児島県柔道選手権大会実施要項

(第67回九州柔道選手権大会鹿児島県予選)

- 1 主 催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後 援 鹿児島県教育委員会 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会
鹿児島市 鹿児島市教育委員会 南日本新聞社
- 3 期 日 令和7年2月1日(土)
※ 開 館 8時30分 ※ 受 付 8時40分
※ 審判会議 9時30分 ※ 開 会 式 10時00分
- 4 会 場 西原商会(鹿児島アリーナ) 武道場

5 出場資格

- (1) 県内で令和6年度全日本柔道連盟登録済の者。
- (2) 下記に示した人数以下及び主催者が特に認めた者とする。
- ① 推薦(前年度1・2位)2名
 - ② 各地区 2名以内とする。なお、下記の③～⑧に所属する者は除く。
 - ③ 県警察 6名以内
 - ④ 鹿児島刑務所 4名以内
 - ⑤ 国分自衛隊 4名以内
 - ⑥ 鹿屋体育大学 6名以内
 - ⑦ 上記以外の大学 4名以内
 - ⑧ 高体連 若干名
 - ⑨ その他、主催者が認めた者

6 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定および大会申し合わせ事項で行う。
- (2) 試合時間は5分間とする。
- (3) 優勢勝ちの判定基準は、全日本選手権、九州選手権に準ずる。
試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行わず、旗判定にて僅少差をもって勝敗を決する。その基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。
- (4) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」が2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。
- (5) 「指導」による罰則は4回目が与えられた時点で「反則負け」とする。
- (6) 立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む(触れる)ことは反則(指導)とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則(指導)とする。
- (7) 2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。
また、今大会は、衛生上の理由で変更しなければならない場合のリザーブ柔道衣を主催者で用意しないため、各自で2着分用意することを推奨する。
- (8) 試合の方法は、トーナメント方式とする。
- (9) 順位決定戦の欠場については、負傷等により試合実施不可能と救護医が判断した場合に認める。

7 組 合 せ

主催者において決定する。

8 表 彰

- (1) 第1位から第5位までを表彰する。(第3位決定戦は行わない。第5位決定戦を行う。)
- (2) 長年出場者を表彰する。

9 参 加 料

3,000円(大会当日、受付で納入する。)

10 参加申込み

令和6年12月11日(月) 必着で、メールで申し込むこと。

申込先 〒892-0853 鹿児島市城山町2-21

公益財団法人 鹿児島県柔道会

メールアドレス entry@k-judokai.sakura.ne.jp

11 そ の 他

(1) 脳震盪対応について

ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。

(3) 上位4名は、3月2日(日)に福岡武道館で行われる第67回九州柔道選手権大会の出場権を得る。但し、特別な事由がある場合は、この限りではない。

(4) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に参加しており、健康であること。

(5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。

(6) 出場選手は全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。また、必ず柔道衣にゼッケンを縫い付けること。ゼッケンは、必ず対角線にも縫い付けること。

(7) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。

(8) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。

(9) 大会前から感染症予防等、健康管理には十分留意して参加すること。

12 参加申込書に記載される個人情報について

- ・ 参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、ホームページに掲載される場合がある。
- ・ 主催者の許諾を受けた企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
- ・ 参加申込書の提出により、以後の大会に関する資料については、上記取り扱いの旨承諾を得たものとして対応する。